

編集後記

2016年度で原田・佐藤の所属が免許資格課程センターへ移って2年目が過ぎた。巻頭言は今年度、免許資格課程センター所長に着任された文学部英文学科の赤松信彦先生よりお言葉をいただいた。赤松先生、免許資格課程センターの出口様には本号に関してはもちろん、普段のセンター、図書館司書課程に関連するお仕事でも大変お世話になっている。印刷をお願いしている木村桂文社様、協力いただいた学生諸君にもあわせて、ここで感謝を述べたい。

2016年度は司書課程に関連する講演会・シンポジウムを4件と多数、開催することができた。本号にはその記録をすべて掲載している。ご講演・パネリストやモデレータとしてご参加いただいた皆さんはもちろんのこと、お忙しい中、編集作業をお引き受けいただいた江上先生、翻訳をいただいた井上先生に心より感謝申し上げます。

2016年度には本学司書課程とも関わりの深い、岩猿敏生先生、伊藤昭治先生がご逝去された。中島先生、東條先生にそれぞれ追悼のご寄稿をいただいた。佐藤にとっては教科書・論文の著者等の形で、参考にさせていただいてきた偉大な先生方であり、最後まで直接ご挨拶する機会を得られなかったことが残念でならない。謹んでご冥福をお祈りし申し上げます。

昨年度、最初の学生を迎え入れた総合政策科学研究科総合政策科学専攻図書館情報学コースは、今年度、無事に最初の修了生を輩出できる見込みである。本号にはそのお一人である今野創祐さんに、図書館情報学コースでの2年間の体験についての寄稿をいただいた。今野さんはじめ修了生の今後のご活躍にもぜひご期待いただきたい。

今年度、東京で開催されたIASL（国際学校図書館協会）の大会に司書課程・大学院図書館情報学コースの学生それぞれ1名ずつがボランティアとして参加した。参加された稲田さん、木村さんにはその経験を参加記として執筆いただいた。また、IFLA（国際図書館連盟）の年次大会に参加された原田先生からも、参加記録をご寄稿いただいた。また、司書課程を受講している学生の中から、佐藤との共同研究の成果をASIS&T（米国情報科学技術協会）の年次大会で発表した中幡さん、小田さん、坂本さんには学会参加体験記と、あわせて見学したデンマークの図書館に関する見学記をご寄稿いただいた。さらに、2015年度から英国シェフィールド大学に留学していた司書課程受講生の御船さんからは、現地の図書館でボランティアを行った貴重な経験についてご寄稿いただいた。学生・教員とも図書館情報学に関し盛んに活動している様子を感じていただければ幸いである。

同志社大学図書館情報学研究会（DUALIS）の活動も4年目に入り、図書館総合展

編集後記

ではポスター発表で運営委員会特別賞も受賞した。その図書館総合展に向けた活動を安田さくらさん、日常の活動を江藤由香里さんに執筆いただいた。かつての DUALIS メンバーであり、現在は大阪市立図書館で勤務される佐藤悠さん、ジュンク堂書店でご活躍の西本千夏さんからは「私の仕事 この一年」のご寄稿をいただいた。残念ながら今年度は現在まで、図書館に正規職員として採用が決定した司書課程修了者の情報は届いていないが、過年度卒業生で今年度4月より京都府立図書館で勤務されている野原隆之介さんから、合格体験記のご寄稿をいただいた。

今年度の図書館見学は中国地区を対象に、本の学校、米子市立図書館、鳥取県立図書館、瀬戸内市民図書館もみわ広場、岡山県立図書館を訪問した。過去にない移動距離であったが、多くの学生諸君にご参加いただくことができた。そこで得られた経験については林さん、金谷さん、横関さんの見学記をお読みいただきたい。寄稿いただいた3人はもちろん、参加された学生諸君、丁寧なご対応をいただいた訪問先の皆さんに心より感謝申し上げます。

(佐藤翔)